

「核兵器のない
世界を」

人類の生存と子どもたちの未来のために

非核・平和の日本の実現を

「核兵器のない世界」は人類共通の願い、世界の流れ

世界には今なお2万6千発もの核兵器が人類の生存を脅かしています。しかし、核兵器が大事だとしているのは、ほんの一握りの国にすぎません。「核兵器のない世界」は人類共通の願いです。

日本の原水爆禁止運動をはじめ、核兵器廃絶をめざす世論が広がり、いま非核地帯は世界に広がっています。「新アジェンダ連合」や非同盟諸国に加え、公正な世界秩序を求めて前進する中南米諸国や米国の同盟国にも、「核兵器のない世界」を求める新たな動きがうまれ広がっています。

今こそ全世界が力を合わせるときです。「核兵器のない世界」を願うあなたの思いを新しい署名に託してください。2010年春開かれる国際会議に提出します。

米原子力空母を首都圏の入口に配備

このようななか日本政府は、国連で核兵器廃絶の交渉を「時期尚早」と拒否。もうすぐ国連軍縮週間が始まりますが、日本の姿勢が問われます。核先制使用など米国の核政策を容認し、市民の圧倒的な反対にもかかわらず、史上初めて米原子力空母ジョージ・ワシントンを首都圏の入り口・横須賀に配備させました。何が何でもインド洋での米艦船への無料給油を続けようとし、憲法9条改悪までおしすすめようとしています。

「日本の進路」を問う総選挙―非核平和への 転換点に

国民の願いに背く政治は、深刻な行き詰まりと破綻に直面し、いよいよ国会解散・総選挙が迫りました。アメリカいいなりを続ける日本か、それとも憲法9条と非核3原則を生かす日本にするのか、「日本の進路」が問われています。

安倍さんに続いて福田さんも「政権投げだし」。続いて誕生した麻生政権もタカ派でしめられ、北朝鮮の核実験（2006年10月）のときには日本も核兵器を持つとう、軍事力には軍事力でと発想した面々。こんな政治では、日本の明るい未来はありません。総選挙を非核平和の日本実現への歴史的転機にしましょう。



原水爆禁止日本協議会

〒113-8464 東京都文京区湯島2-4-4
TEL.03-5842-6031 FAX.03-5842-6033
<http://www.antiatom.org/>